TSUKUBA ●SHIMIN NETWORK ネット

●議員は原則2期・最長3期で交代　●議員報酬は市民の活動費　●選挙はカンパとボランティアで

<討議資料>

つくば・市民ネットワーク

皆川ゆきえ通信

発　行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2−1−3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp

2020年　秋号

#毎日の暮らしは市政につながっている！

つくば市議会議員

皆川（みながわ）ゆきえ

は、市民の代理人として全力を尽くします！

これまで私達、つくば・市民ネットワークは、
17年間市政の情報公開と市民参加を目指し、活動してきました。
この4年間でつくば市は、市民主体・地域主体のまちづくりに舵を切りました。
市民の声がきちんと市政に反映される仕組みづくり、それらの条例化を目指し、
これからも活動していきたいと思います。

皆川ゆきえ これまでの成果

市民の声を実現！

つくば市再生可能エネルギー発電設備の設置手続に関する要綱制定

児童クラブ公設公営化（2017）

茎崎地域包括支援センター設置（2018）

生活支援体制整備事業スタート（2017）

つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例改正

牛久駅⇔茎崎
実証実験バス走行（2019〜）

市民団体立ち上げを支援し、市内の公園や学校グランドでプレイパークを開催

#暮らしは政治

つくば・市民ネットワークの

皆川ゆきえです。

皆川（みながわ）ゆきえ

高齢になっても“暮らし続けたいまち”に!!

周辺地域を活気あるまちに

- 地域交流センターや学校を、青少年・高齢者・誰もが集い、楽しく交流できる場に
- 空き家活用の促進
- 雇用創出と、農的暮らしをサポート

公共交通の充実

- 車が無くても、つくバス等で生活圏を移動可能に

全ての人の権利が守られるまちに

- 経済格差が教育格差にならないよう、放課後学習支援を拡充
- 困ったらいつでも相談しやすい場を
- 多様な保育・多様な教育の実現

多様な人が集う
学園都市つくばに
引っ越してきて16年。
つくばの魅力を
さらに生かして、
住み続けたい
まちに！

皆川ゆきえのプロフィール

1970年	山形県南陽市生まれ
1989年	山形県立長井高等学校卒業
1993年	山形大学人文学部経済学科卒業
	ソフトウェア会社勤務（～2001年）
2005年	つくば市に転居
2010年	生活クラブ生協茨城理事
2011年	放射能汚染から子どもを守ろう @つくば代表
2012年	つくば市議会議員に当選
現　在	つくば市議会議員 市民経済委員会副委員長
	つくば市高崎在住、夫とこども2人
趣　味	スキー、山歩き、食べ歩き

情報公開が進み、誰もが市政に参加しやすい仕組みをもっと広げたい！

つくばの未来を いっしょにつくろう！

- 情報公開と市民参加
- 安心して暮らせるまち
- 安心・安全な食と農
- 循環型社会をつくる
- 子育て支援・教育の充実
- 原発のない社会づくり
- 福祉の充実
- 憲法の三原則を守る

「つくば・市民ネットワーク」って？

つくば・市民ネットワークでは市民と議員がともに活動しています。議員を「議会で発言する代弁者」と位置付け、“代理人”と呼んでいます。議員報酬の約半分を法に則り寄付し、調査・学習等の市民活動に使い、市政に関心を持つ人・参加する人を増やします。そのために議員は交代していきます。

つくば・市民ネットワークの3つのルール

1 議員は原則2期・最長3期で交代
市民ネットの議員（代理人）は原則２期・最長３期で交代し、職業化・特権化しません。市政への参加の層を広げます。任期を終えた代理人は地域の活動にその経験を生かします。

2 議員報酬は市民の活動費
市民ネットの活動はカンパで支えられています。議員も議員報酬の約半分を寄附し、調査・研究・学習など市民の活動費に使います。お金の流れは公開し、政治資金の透明化を図っています。

3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は政治参加の入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出しあって選挙を行います。

つくば・市民ネットワーク Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2−1−3クラフトビル1F